

YŌKOSO! JAPAN大使 (平成21年12月8日任命の14名)

あらまき だいしろう

荒牧 大四郎 氏【松竹(株)演劇本部 演劇開発企画部門担当 取締役】

歌舞伎を通じた日本の魅力の海外発信、外国人旅行者の受入体制整備

日本の代表的な伝統芸能である歌舞伎の海外公演や英語での公演等を通じ、歌舞伎の国際化のための取組みを社内で先頭に立って推進している。海外における歌舞伎公演は60回(108都市35カ国)を超え、1回の公演で数千人から数万人の規模で入場者を集め、歌舞伎のファンを世界中に広めている。また、歌舞伎座において、英語イヤホンガイドを外国人の観客が多い幕見席に導入するなど受入体制の整備に努めるとともに、歌舞伎を通じた日本の魅力の発信に積極的に取り組んでいる。



いけだ まさかず

池田 政伽津 氏【山梨県笛吹市石和温泉旅館協同組合 海外誘客部 部長】

地域の外客誘致活動を主導、中国人観光客の受入体制整備

山梨県内で有数の訪日外国人宿泊地“石和温泉郷”において、「石和温泉旅館協同組合」に海外誘客部会を立ち上げ、外客誘致に積極的に取り組んでいる。石和温泉の外客誘致のまとめ役として、ビジット・ジャパン・キャンペーンの旅行博への出展等で海外プロモーションを実施するなど、地元自治体と協働して訪日外国人誘客促進に貢献している。2008年からは、中国で観光を学ぶ専門学校生の研修受け入れを開始し、日本語・日本文化の講習やホテル・旅館における接客等の実務研修を行い、日中相互の文化・慣習の理解促進に先進的に取り組むと共に、中国人観光客の誘客促進・受入体制整備に努めている。



いずみ とみお

泉 登美雄 氏【NPO法人秋葉原観光推進協会理事/事務局長】

秋葉原における外国人旅行者の受入体制整備

秋葉原の地域活力及びブランド力向上に尽力し、外国人旅行者からの要望が多かった英語・中国語マップの企画・作成や、外国人旅行者無料ツアーの実施等、秋葉原への訪日外国人旅行者誘客・受入体制整備において中心的な役割を果たしている。NPO秋葉原観光推進協会では理事・事務局長を務め、(社)日本ツーリズム産業団体連合会との協力やビジット・ジャパン・キャンペーンとの連携等を通じて、秋葉原の海外プロモーションに尽力している。



かわしま ひさお

川島 久男 氏【川島アソシエイツ代表】

運営の専門家として国際会議の振興に貢献

国際会議運営の専門家として長年にわたり全国各地で講演、コンサルティングを実施し、会議誘致のポイントや、収益を意識した会議の運営方法等を広く紹介している。日本人として唯一、世界的な会議運営組織の団体である「国際PCO協会(IAPCO)」において講師としても活動(95年～01年)するなど、その取組は海外でも知られている。

国内では、観光庁の「国際会議誘致ハンドブック」やJNTOの「国際会議マニュアル」等の刊行にも携わり、国際会議誘致・運営の具体的な知識の普及に貢献すると共に、JNTO国際会議支援セミナー講師を長年務めた他、「国際会議誘致・開催貢献者表彰」選考委員を務め、国際会議誘致の発展・啓蒙に尽力している。



ジョンゴントナー 氏 (米) 【日本酒ジャーナリスト】

日本酒を通じた日本文化の発信

日本酒に関する情報発信を国内外で積極的に行うことにより、日本酒ファンの来日促進に貢献している。全米各地のジャパンソサエティーや、ケネディセンター、ハーバード大学やコロンビア大学等、また米国以外においても香港、中国、英国などで講演を行うほか、日本及び米国において外国人向けに「酒プロフェッショナルコース」という講習を毎年開催し、日本酒に関する知識の普及に努めている。日米で開催する「酒プロフェッショナルコース」は毎回満員となっており、日本でのコースについてもほとんどが外国からの参加となっているほか、日本の酒どころをめぐる「Sake Brewery Tour」を企画するなど、日本酒をテーマにした外国人旅行者の誘客促進にも努めている。



澤 功 氏 さわ いさお 【澤の屋旅館 館主】

地域と一体となったホスピタリティあふれる外国人旅行者の受入体制整備

積極的に外国人旅行者を受入れてきた自身の経験を、講演や出版を通じて紹介し、訪日外国人旅行者受入促進や体制整備に貢献している。「澤の屋旅館」は、宿泊客の9割が外国人客で年間客室稼働率が90%を越えており、これまでに100か国、延べ14万人の外国人客を受け入れ、地域と一体となった国際交流に貢献している。利用者の3割がリピーターであることに表われているように、宿泊者に対するホスピタリティあふれる取り組みが高く評価され、外国人旅行者を受け入れる旅館の手本となっており、2003年には観光カリスマに認定されている。（「下町の外国人もてなしカリスマ」）



田中 まこ 氏 たなか 【神戸フィルムオフィス 代表】

【JFC(ジャパン・フィルムコミッション)副理事長】【ひょうごロケ支援Net会長】

フィルムコミッションの活動を通じ、神戸の魅力を海外に発信

映像制作での豊かな経験をもとにフィルムコミッション活動を推進し、欧米、アジアなどのフィルムコミッショナーやエンターテインメント産業への幅広いネットワークを活かして国内外のロケを積極的に誘致し、年間10件前後の海外作品の撮影を支援して神戸の映像・魅力の発信に尽力している。2001年にはアジア初のAFCI(国際フィルムコミッショナーズ協会)の理事を務めた他、2004年にはAFCNet(アジア・フィルムコミッション・ネットワーク)の立ち上げに尽力し、副会長を務めるなど、日本のフィルムコミッションの国際的な活動で先導的な役割を担い、映像を通じた訪日外国人誘客促進に貢献しており、2003年には観光カリスマに認定されている。（「映像による地域振興・観光隆盛のカリスマ」）



陳 海騰 氏 (中) ちん かいとう バイドゥ 【百度中国公司 駐日首席代表】

WEBを通じて中国人旅行者の誘客に貢献

中国国内でのシェア第1位の検索エンジンBaidu(バイドゥ)の日本代表として、WEBを通じた中国人旅行者の誘客に貢献している。同社との連携事業を実現した結果、ビジット・ジャパン・キャンペーン中国語(簡体字)サイトのアクセス数は飛躍的に増加している。中国国内の大手旅行会社勤務、日本留学などの経験を生かし、個人観光ビザの解禁を契機とした富裕層を中心とする中国人観光客の誘致に必要な情報提供のあり方や、受入体制整備の必要性などについて日本国内各地での講演を行い、今後中国人旅行者の受入れに力を注ごうとする各地域にとって有効な情報を提供している。



つきはら こういち

月原 紘一氏【三井住友カード(株)代表取締役社長】

訪日中国人旅行者のショッピングの環境整備に貢献

近年多くの中国人旅行者がショッピングを目的に日本を訪れているが、銀聯カードが利用可能な加盟店の普及拡大を通じて、外貨持ち出し制限のある中国人旅行者が日本でのショッピングを自由に行える環境の整備に貢献してきた。また、ビジット・ジャパン・キャンペーンとの連携で、中国の大型連休に合わせて加盟店とタイアップしたキャンペーンを実施すると共に、中国語ガイドマップの作成・配布やインターネットでのPR等に取組み、訪日中国人旅行者の増加に努めている。



とがわ よしあき

外川 凱昭 氏【富ノ湖ホテル(株)代表取締役】

低廉な訪日外国人向け施設整備による先駆的な受入体制整備

ビジット・ジャパン・キャンペーンの開始前から、外国人旅行者の受け入れの重要性を認識し、日本を象徴する富士山の麓という地理的条件を活かして低廉な外客受入れに対応したホテルを建設する等、先駆的な取り組みを実施している。さらに、(社)日本観光旅館連盟の役員として、自らの外国人旅行者受入れの取り組みを広く示し、旅館経営の改善や、おもてなしについて、他の旅館の啓蒙に注力している他、富士五湖観光連盟の役員も務め、富士山、富士五湖周辺地域の観光客誘致の促進、ホスピタリティの向上に努めている。



ひがし よしかず

東 良和 氏【沖縄ツーリスト(株)代表取締役社長】

沖縄への外国人誘客促進、受入体制整備

地域や関係業界との連携、先端技術の導入等により、沖縄への外国人誘客促進に積極的に取り組んでいる。メーカーと共同開発した「四言語(英・中・韓・日)対応カーナビゲーションシステム」を搭載したレンタカーを全国で初めて導入した他、関係業界と連携してITを活用した観光案内システムの実用化に向けた取り組みを実施する等外国人旅行者の受入体制整備を積極的に進めている。さらに、沖縄県観光教育研究会を立ち上げ、大学での講演や小学校の教材開発などにも携わり、次代を担うグローバルな人材育成に取り組んでいる。



ほしこ せいいち

星子 誠一 氏【(株)スターチャイルド 代表取締役】

ビジュアル系ミュージックの海外発信を通じた訪日外国人誘客促進

雑誌、インターネット、ライブなどの手段を駆使して新しい日本のポップカルチャーとしてビジュアル系ミュージックを広く海外に広め、外国人の訪日促進に貢献している。世界最大級の日本音楽情報専門サイトとの提携や、海外公演などを通じてビジュアル系ミュージックに関する情報を世界に積極的に発信することにより、主催するコンサートには全来場者数の約15%に相当する18万人の外国人が訪れている。



よしざわ つとむ

吉澤 勉 氏 【(株)ヨドバシカメラ グッドコミュニケーション本部 取締役本部長】

家電量販店における外国人旅行者の受入体制整備

家電量販店で初めて銀聯カードを導入すると共に、売り場での多言語表記などを率先して取り入れ、中国人をはじめとする外国人旅行者の受入に尽力している。漢字社名を縁起が良いとされる「友都八喜(中国語読み):ヨドバシ)」と定めるほか、店内の外国語案内表示の外国人の視点によるチェック、中国語・韓国語・英語を話せる従業員の採用、ビジット・ジャパン・キャンペーンと連携した旅行博覧会への出展等に積極的に取り組んでいる。また、外国人顧客の獲得及び小売業を海外に誇れる観光資源に育てることの重要性について、講演などにより業種・業界を超えて幅広く啓蒙を行い、外国人旅行者の受入体制整備に貢献している。



わたなべ あつみ

渡辺 厚 氏 【(株)情報伝達研究所代表取締役】

誘致活動の専門家として国際会議の振興に貢献

国際会議都市作りの草創期から、数多くのコンサルティングや事業参画を行っている。国際会議を「地域を見直す契機」と捉え、国際会議は「街おこしに貢献」できる「地域の創意工夫の賜物」であり、成功のためには「地域の人材育成と人脈が重要」との理念の下、各地で講演を行い、国際会議誘致活動の意義の啓蒙に努めている。さらに、各都市における国際会議関係の委員会の委員も務め、国際会議誘致促進による地域の活性化に取り組むとともに、大学ではMICE講座の講師を務め、次代の国際会議誘致を担う人材の育成にも注力している。



(備考)氏名の次の括弧()内は国籍。ただし日本国籍の場合は記述していない。